

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<p>(ア) 地域住民の生活基盤の安定と生命安全の確保 不発弾汚染地域 116ha を安全化した。安全化した土地は、93ha が新しい農耕地として利用され生産高の向上に寄与し、23ha は新しい村づくり、学校建設地等の公共用地として利用されている。</p> <p>(イ) 不発弾処理技術の向上による犠牲者の減少 UX0 Lao-ATP 隊員の不発弾処理技術の向上により不発弾処理が行われ地域住民の安全性が向上されたこと、啓蒙教育技術の向上により住民の啓蒙活動参加人数が増えたことなどから犠牲者の発生をゼロに抑えることができた。</p>
(2) 事業内容	<p>(ア) 不発弾処理活動 UX0 Lao-ATP の 6 個処理チームと協同で不発弾処理活動を実施した。</p> <p>(イ) 技術移譲 (a) 不発弾処理技術移譲 UX0 Lao-ATP 隊員が、JMAS 専門家の不発弾処理技術を修得し不発弾処理を安全かつ効率的に実施し得る基盤を構築するため、年間計画を作成し、不発弾処理現場を教育の場として、学科（計画教育）と実技（OJT）での教育を行った。特に、実技（OJT）での指導に重点を置き UX0 Lao-ATP の処理チームを主対象として不発弾処理技術移譲を実施した。また、随行指導による技術移譲を実施し大型爆弾等の不発弾処理教育を集中的に行った。</p> <p>(b) 啓蒙教育技術移譲 UX0 Lao-ATP 啓蒙チームを対象として、学科（計画教育）と実技（OJT）で啓蒙教育技術移譲を実施した。</p>
(3) 達成された効果	<p>(ア) 不発弾処理 不発弾処理目標 107ha に対し 116ha 安全化した（別紙 1 「月別処理面積」）。目標に対して 108%の達成率であり、年度目標より広い不発弾汚染地域を安全化することが出来たことで、より多くの地域住民の生活環境の改善を図った。また、大型爆弾×9 発、クラスター子弾×512 発、砲弾等×331 発の不発弾処理を行い地域の環境改善に寄与した（別紙 2 「月別・弾種別処理実績」）。</p> <p>(イ) 技術移譲 (a) 不発弾処理技術移譲 U JMAS 専門家の UX0 Lao-ATP 処理チームへの不発弾処理技術移譲は、年間実施目標合計 166 回に対し 159 回を実施した（別紙 3 「教育実施計画・実績」）。目標回数に対して 96%の達成率であった。計画に対し 4%届かなかったが、隊員の評価結果では、目標レベルに到達しており（別紙 4 「技術移譲の評価」）、技術移譲は達成できた。また、UX0 Lao 全体に対する不発弾処理技術移譲の基盤を構築するため、アッタプー県同様に、大型爆弾等が多く発見されている南部 2 県（セーコン県・サラワン県）の UX0 Lao 隊員、及び UX0 Lao 全体の教育を行っているトレーニング・センターの教官等への研修を 3</p>

	<p>回実施し、UXO Lao 全体に対して JMAS 専門家の技術普及に努めた(別紙 4「技術移譲の評価」、別紙 5「随行指導実績」)。</p> <p>(b) 啓蒙教育技術移譲</p> <p>JMAS 専門家の UXO Lao-ATP 啓蒙チームへの啓蒙教育技術の指導は、年間計画回数 35 回に対し実施回数 29 回(83%)とやや少なかったが、同じ事務所内で平素から指導しており不足を補った。特に、地域で発見される不発弾の特徴と危険部位の教育を始めとし、プロジェクターの有効な使用方法、パソコンへの効率的な資料の取り込み方法、JMAS 作成のソフトプログラムを使った教育方法などについて指導を行なった(別紙 3「教育実施計画・実績」、別紙 4「技術移譲の評価」)。</p> <p>(c) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JMAS は、日本財団の助成を受けて 2012 年 3 月に UXO Lao-ATP に教場を竣工させ、教育環境の改善を図った。 ・ 不発弾処理に関する会議(国家調整委員会(NRA)主催)において JMAS 専門家が不発弾カットによる処理方法について提案した。 ・ UXO Lao から要望のあった UXO Lao セコン、サラワンのチームリーダー等に対し、追加教育を実施し教育の普及を図った。
(4) 持続発展性	<p>(ア) 不発弾処理</p> <p>次期事業においても不発弾処理汚染地域の処理面積目標を 140ha に設定し、住民の生活の安定、教育環境や生活環境の改善に寄与させる。</p> <p>(イ) 技術移譲</p> <p>(a) 不発弾処理技術移譲</p> <p>引き続き次期事業の教育実施計画を作成し、不発弾処理技術移譲を実施するとともに、事業の終末に不発弾処理技術判定を行い、UXO Lao-ATP 隊員の不発弾処理技術の向上を図る。また、南部 2 県(セーコン県・サラワン県)の UXO Lao 隊員、及び UXO Lao 全体の教育を行っているトレーニング・センターの教官への研修を実施し、UXO Lao 全体に対する不発弾処理技術移譲の基盤を構築する。</p> <p>(b) 啓蒙教育技術移譲</p> <p>啓蒙教育技術移譲は今回で終了するが、啓蒙チームは、取得したパソコンやプロジェクターの使用法に習熟し、効果的な教育について工夫していくことが期待できる。また、住民に対しての啓蒙説明を、パソコンソフトにより実施しているが、住民の参加率が高く、ソフトの内容を逐次改良していくことにより、教育効果の向上が期待できる。</p>